

矢田 續 つぐ 新聞記者、實業家。萬延元年八月九日紀伊國生れ、昭和
 十五年三月二十五日没（一八六〇—一九四〇）。號新柳道人、袖浦外史。舊姓
 谷井。十九歳の折矢田氏を嗣ぐ。明治十二年慶應義塾を本科卒。爾來福
 澤諭先生の知遇を得、十五年『時事新報』創刊の際に編輯司員。その後
 『神戸又新日報』主筆となり、二十年山陽鐵道會社運轉課長となり、
 『實業界』編輯、二十八年三井銀行入行、のち名古屋支店長、監査役
 となり、名古屋財界の重きを成した。また私財を投じて名古屋ハム兼圖
 書館を創設す。

著書に『熱海メモワール』（昭和五年四月）『二十二年愛知・月刊』（福澤
 先生と自分）（昭和八年一月）『二十八年名古屋ハム兼圖書館』（懷遠堂）
 『昭和十一年一月』『二十九年名古屋ハム兼圖書館』等。

